

2024年（2024. 4. 1～2025. 3. 31）
小田原倉庫運輸（株） 環境経営レポート

発行No: 2024-01 発行: 2025年 4月 26日

改訂: 2024年 4月 27日

1. 会社概要及び対象範囲

(1) 事業所及び代表者氏名

事業所名: 小田原倉庫運輸株式会社 代表者氏名: 小野 高（代表取締役社長）

(2) 所在地: 〒250-0861 神奈川県小田原市桑原57番地

(3) 環境管理責任者氏名: 永井 鏡啓

連絡先TEL: 0465-36-5211 / FAX: 0465-36-5207

(4) 事業概略

- ① 倉庫事業（製品の荷受・保管・出荷・荷役及び情報処理業務）
② 製品運搬業務（製品の搬出運搬検品及び荷役業務全般）

(5) 事業規模（2024年4月現在）

従業員数: 6名 売上高: 20,886万円 延べ床面積: 9,142.37㎡

(6) 認証・登録範囲: 全組織・全活動（本社倉庫）

2. 環境経営方針

企業理念

小田原倉庫運輸株式会社は地球と人類全体の課題として、持続可能な地球環境保全の為、事業活動を通じて、環境への配慮と、社会との調和・共生を大切にした経営に努めます。

基本方針

当社の主事業である、倉庫・運輸業は、資源・エネルギーを消費し、廃棄物を排出しています。私達はこの事実を真摯に認識し、地球環境への十分な配慮と資源の保護、並びに汚染の予防に取り組みます。

これ等を達成する為に、環境マネジメントを構築し、目的・目標を定め定期的に見直すことにより継続的な改善に努めて行きます。

また当社に適用される「環境法規等」を遵守いたします。

行動指針

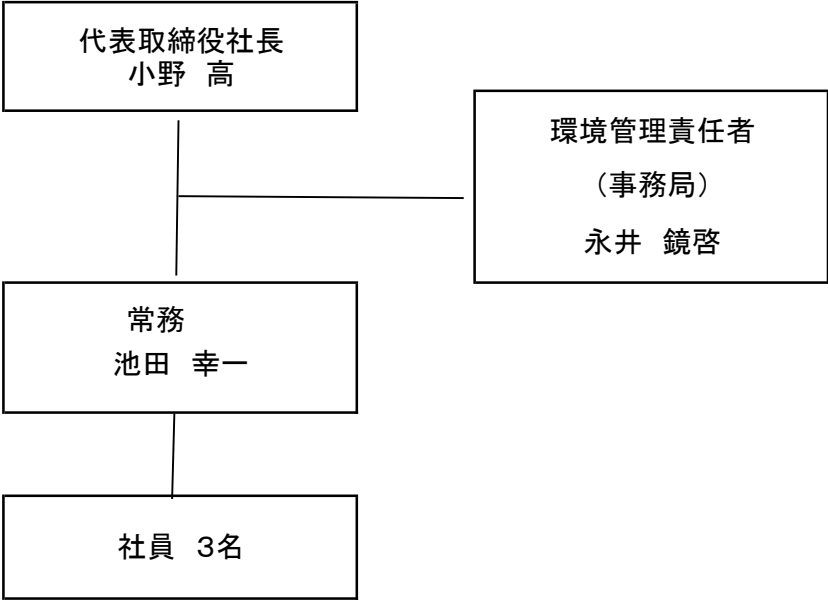
- 電気・化石燃料の効率的な使用により二酸化炭素の排出量を削減します。
- 廃棄物の排出量を削減します。
- 水の使用量を削減します。
- 事務用品等のグリーン購入を推進します。
- 物流業務におけるクレームを撲滅します。

この環境経営方針は一般に公開します。

令和6年4月1日

小田原倉庫運輸株式会社
代表取締役社長 小野 高

○ 環境経営実施体制図



3. 中長期環境経営目標

	環境目標設定項目	2023年度 実績値(基準値)	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
1	二酸化炭素排出量	47,293kg-CO ₂	1% 削減 46,820kg-CO ₂	△ 1% 削減 58,990kg-CO ₂	△ 1% 削減 58,400kg-CO ₂
2	電気使用量の削減	使用量 77,784kwh	1% 削減 77,006kwh	△ 1% 削減 97,920kwh	△ 1% 削減 96,941kwh
3	水道水使用量の削減	使用量 89.0m ³	年間89.0m ³ で 維持管理	年間89.0m ³ で 維持管理	年間89.0m ³ で 維持管理
4	グリーン購入の推進	環境物品 購入率 93%	購入率93% で維持管理	購入率93% で維持管理	購入率93% で維持管理
5	クレーム発生の撲滅	重大事故 0件 軽微事故 1件	重大事故 0件 軽微事故 1件	重大事故 0件 軽微事故 1件	重大事故 0件 軽微事故 1件
6	廃棄物排出量の適正管理	排出量基準値 204kg	年間204kg以下で 維持管理	年間204kg以下で 維持管理	年間204kg以下で 維持管理

※CO₂排出係数 電気 : 0.608kg-CO₂/kWh (電力会社2024年度 丸紅新電力)

* 化学物質の使用はありません。

1 2 自社管理の電気使用箇所、荷役製品の増加の為、2025年度4月から3月迄の目標値見直し
(59,586kg-CO₂ ➡ 1%減58,990kg-CO₂ 98,000kwh ➡ 1%減97,920kwh) を目標値として取り組む。

4. 年度の環境目標とその実績

2024年度 （2024年4月1日～2025年3月31日）

	環境目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量 (目標値46, 820kg - CO ₂)	排出量 53, 877 kg-CO ₂	×
2	電気使用量の削減 (目標値 77, 006kwh)	使用量 88, 614kwh	×
3	水道水使用量の削減(目標値 89. 0 m ³)	使用量 89. 0m ³	○
4	グリーン購入の推進(目標値 93%)	購入率 94. 5%	○
5	クレーム発生の撲滅(目標値 1件)	発生件数 1件（軽微事故）	○
6	廃棄物排出量の削減 (年間 204kg以下で維持管理活動)	ゴミの分別、減容化を推進。 実績 180kg	○

5. 本年度の主要な環境活動計画（具体的取組内容）及びその実績、評価結果

2024年度 （2024年4月1日～2025年3月31日）

	活動計画／施策	評価	評価結果 達成：○ 未達成：×
1	「電気使用量の削減」 10分以上退出時の消灯 事務所OA機器の節電 空調機器の省エネ運転 間引き照明の実施	荷役作業も多く繁忙期等、照明やエレベーター使用時間が長くなり、電気使用量も増え達成出来なかった月もありましたが、こまめに消灯するなど節電活動は取り組めていた。	○
2	「水道水使用量の削減」 節水活動の呼びかけ強化 シャワー型の蛇口を使用 節水コマの活用	前年度未達成で目標値の見直しもあり、目標達成に向けて各自節水活動が取り組めていた。次年度以降も活動していく。	○
3	「グリーン購入の推進」 事務用品等購入の削減	事務用品購入の削減が取り組めている。順調に推移している。	○
4	「事故クレーム発生の撲滅」 フォークリフト運転マニュアルの周知徹底 入在庫製品の検品、外観チェックの徹底	軽微事故1件、重大事故0件で達成出来た。引き続き軽微事故もゼロで推移出来るよう活動していく。	○
5	「廃棄物排出量の削減」 排出ゴミの削減・分別の徹底	順調に推移している。	○

6. 次年度の環境目標と活動計画（施策）
2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）

	環境目標	活動計画 ー具体施策ー
1	二酸化炭素排出量 （次年度目標値の1%削減：目標値58,990kg CO2）	・空調機器の省エネ運転 ・節電の徹底
2	電気使用量の削減 （次年度目標値の1%削減：目標値97,920kwh）	・事務所間引き照明の実施 ・倉庫各エリア不在時の消灯
3	水道水使用量の削減 （2023年度実績値の維持管理89.0m ³ ）	・水道水使用量の抑制 ・節水の呼びかけ
4	グリーン購入の推進 （環境物品購入比率を93%を維持）	・事務用品購入の削減
5	クレーム発生の撲滅 （重大事故及び誤出庫0件）	・フォークリフト運転マニュアルの周知徹底 ・製品の外観チェック・検品の徹底
6	廃棄物排出量の削減 （年間排出量 204kg以下で維持管理）	・ゴミの分別・削減活動

7. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

	該当する環境関連法規制	違反、訴訟等の有無	
		過去	現在
1	廃棄物の処理および清掃に関する法律	無し	無し
2	P C B廃棄物特別措置法	無し	無し
3	浄化槽法	無し	無し
4	貨物自動車運送事業法	無し	無し
5	自動車Nox・PM法	無し	無し
6	グリーン購入法	無し	無し
7	フロンガス排出抑制法	無し	無し
8	小田原市豊かな地下水を守る条例 小田原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	無し	無し

※当社が実施した遵守評価等の結果、過去3年間の上記環境関連法規制の違反及び利害関係者からの苦情、訴訟はありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、9月から本社倉庫で一部お客様への倉庫貸し出しが始まり、自社製品の倉庫内移動等がありました。昨年は自社製品保管場所が1Fでの作業でしたが、倉庫貸し出しに伴いエレベーター等稼働する機会も増え、電力使用量も増えました。

また、次年度4月から自社管理での荷役増加で倉庫稼働時間も長くなる事が見込まれており

電力使用量の目標値を見直し、目標達成に向けて取り組んで行きたいと思います。

本来業務である、重大事故、軽微事故も起こさない様、引き続き安全作業で

事故ゼロを目指して行きましょう。